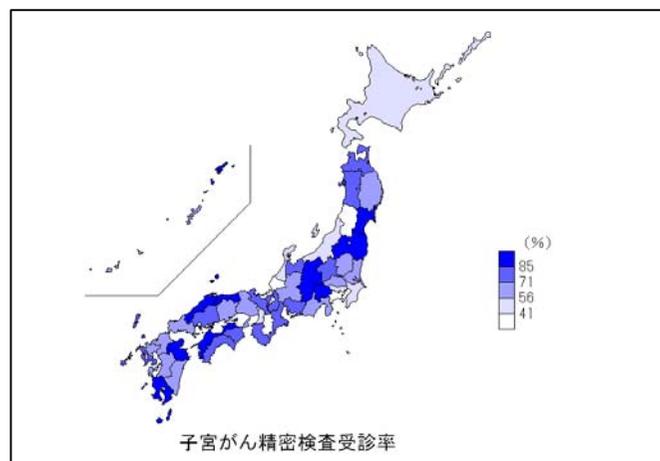
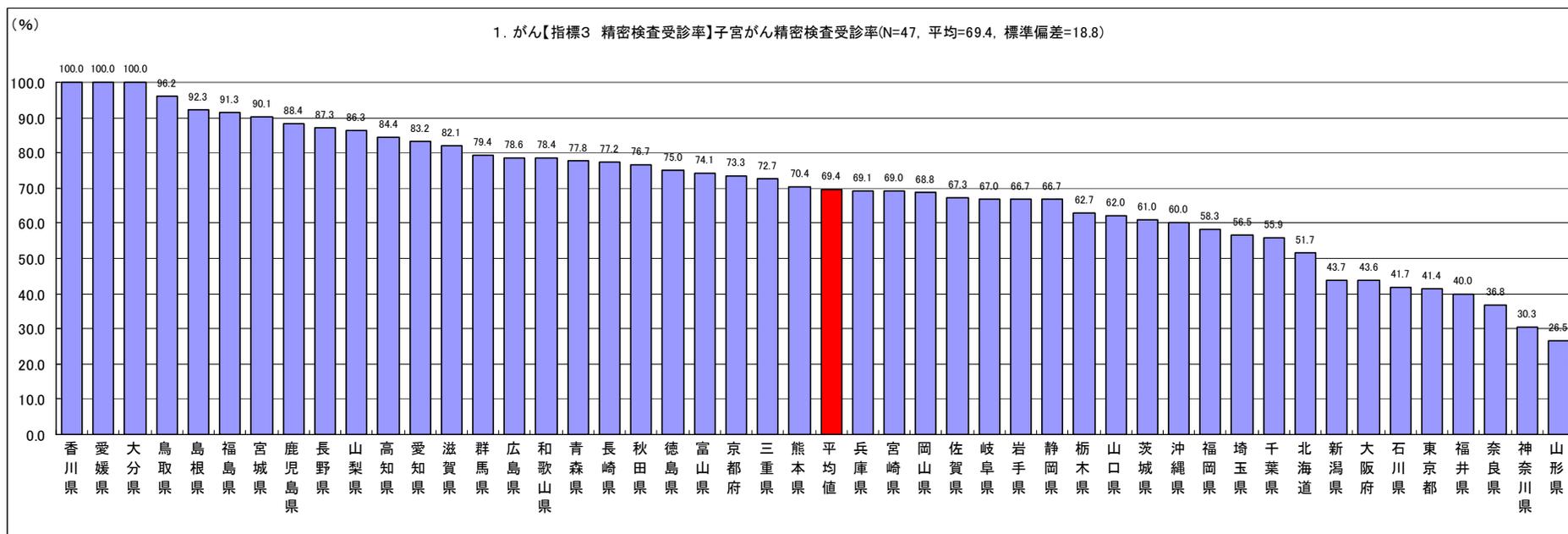


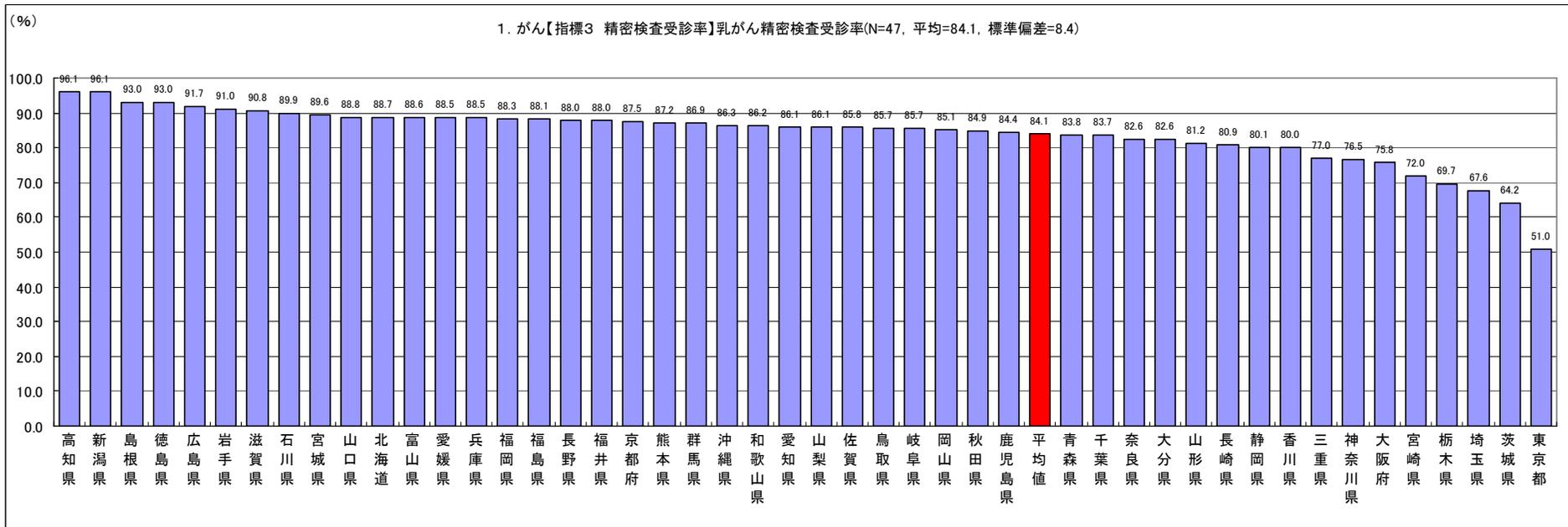
- 宮城県が最も高く、神奈川県が最も低い結果です。平均値は 60.8、標準偏差は 10.8 です。
- 地域的傾向として、関東と近畿地方が低く、また北陸、四国、九州地方が高くなっています。



- ・ 香川県、愛媛県、大分県が最も高く、山形県が最も低い結果です。平均値は69.4、標準偏差は18.8です。
- ・ 地域的な傾向として北陸地方が低く、中国地方が高くなっています。

■都道府県からの意見■

- ・ ①頸部のみ、②体部のみ、③頸部及び体部があり、国のがん検診指針において、問診の結果、不正性器出血等があった者（体部がんの疑いがある者）は、第1選択として、十分な安全管理のもとで多様な検査を実施できる医療機関の受診をすすめており、積極的には体部がん検診の実施を推奨してはいない。記入要領の定義では、子宮がん検診の大部分を占める「頸部のみ」の受診者が含まれず、ごく一部の受診者の状況を表したものに過ぎない。①～③の合計を指標とすべきである。それとも体部がん検診にこだわる理由があるのか。



- ・ 高知県、新潟県が最も高く、東京都が最も低い結果です。平均値は 84.1、標準偏差は 8.4 です。
- ・ 地域的な傾向は見られませんが、東京都が特に低くなっています。